

FY2016 2Q Financial Results

2016年4月期 2Q  
決算説明会資料

株式会社フルスピード

Full Speed Inc.

Dec. 11<sup>th</sup> 2015

## Topics

- |  |                      |    |
|--|----------------------|----|
|  01 事業コンセプト         | Business Concept     | 3  |
|  02 エグゼクティブ・サマリー    | Executive Summary    | 6  |
|  03 ビジネスの概況         | Business Overview    | 13 |
|  04 FY2016 2Q 決算の状況 | FY2016.2Q Financials | 30 |

## Appendix

- |  |                        |    |
|--|------------------------|----|
|  フルスピード社 会社概要 | About Full Speed Group | 36 |
|--|------------------------|----|

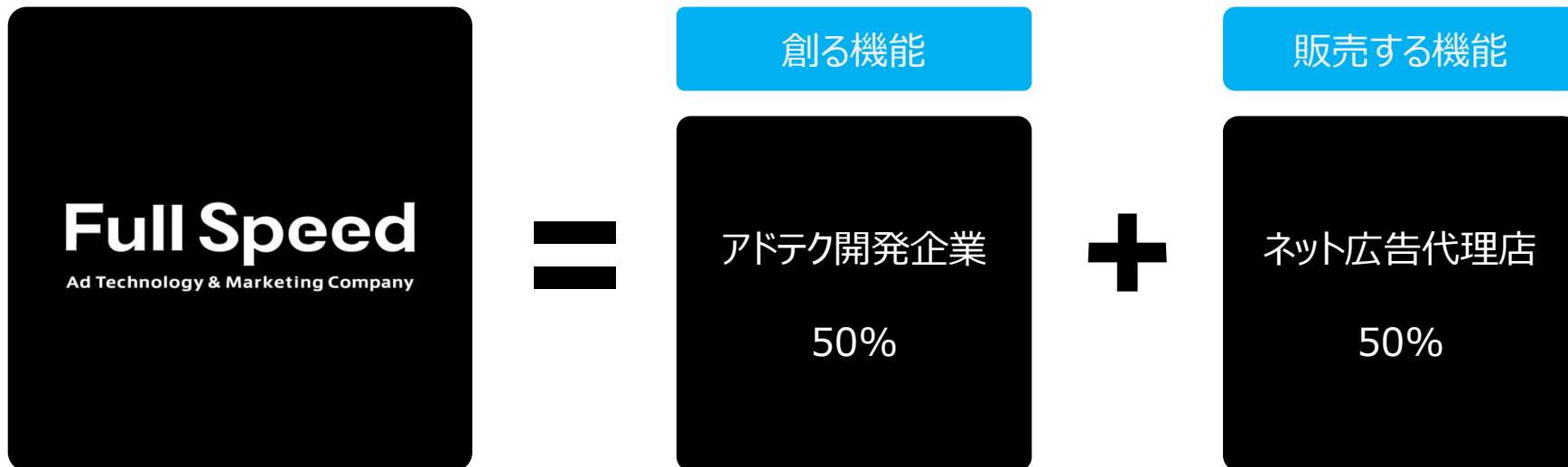


アドテクノロジー事業

インターネット  
マーケティング事業

訪日インバウンド事業

“AdTechnology & Marketing Company”として、  
 “創る機能”と“販売する機能”の両軸で攻める  
 国内唯一のハイブリッド型ネット広告代理店を目指す。  
 事業領域も国内からアジア圏へ



AdTechnology x Marketing x Asia

“ 3つの事業領域を国内からアジア圏へ広げる ”

アドテクノロジー事業

成長領域であり、更なる拡大と収益性の向上

AdMatrix DSP

アフィリエイトB

スマートフォン向けアドネットワーク「AID」

訪日インバウンド事業

収益化を実現し、次年度以降は  
他アジア諸国への展開

SEM/ソーシャルメディア運用

訪日アプリメディア「GO日本」

フリーペーパー「GO日本」

インターネットマーケティング事業

広告とコンテンツをストーリーで繋げる  
戦略的サービス展開

SEM/ソーシャルメディア運用

動画広告

その他

Core Competence

“ AdTechnology & Marketing Company ”



## エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

**構造改革後\*、過去最高の売上高、前年同期比で倍増の営業利益を達成**

～アドテクノロジー事業の飛躍的な伸長、インターネットマーケティング事業の順調な進捗

※FY2014以降

**FY2016  
上期**

**売上高 7,333 百万円 (前年同期比: +27.3%)**

**営業利益 451 百万円 (前年同期比: +102.2%)**

**FY2016  
上期  
セグメント**

セグメント	売上高	セグメント利益	
インターネット マーケティング	3,954 百万円	165 百万円	前年同期比 +93百万円
アドテクノロジー	4,395 百万円	549 百万円	前年同期比 +190百万円
その他	59 百万円	24 百万円	前年同期比 +20百万円

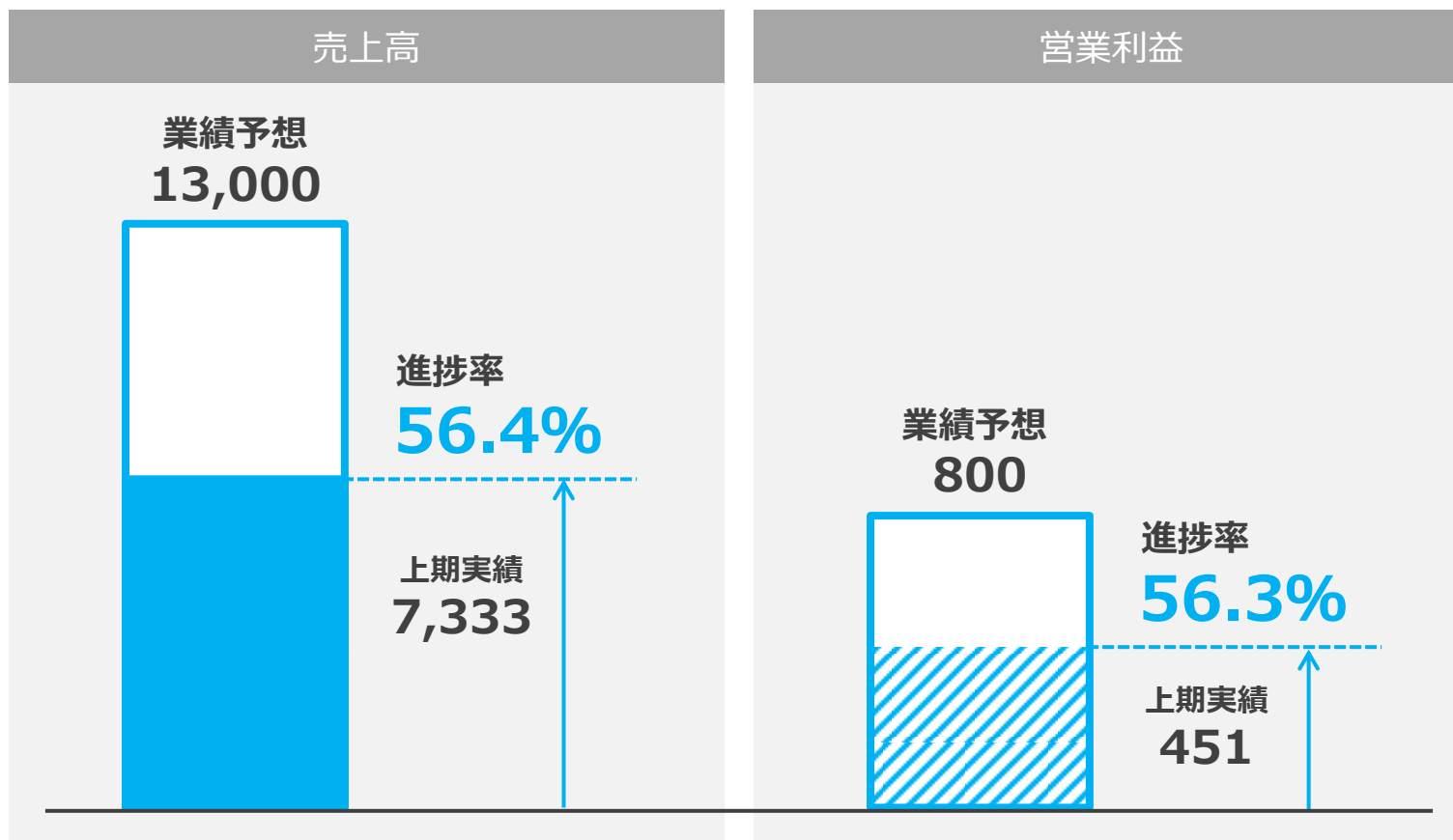
※セグメント間消去前数値

**通期予想進捗) 売上進捗率 56.4% 営業利益進捗率 56.3%**

～将来投資費用を完全に吸収し、売上・営業利益ともに順調に進捗

業績予想 進捗率

(単位: 百万円)

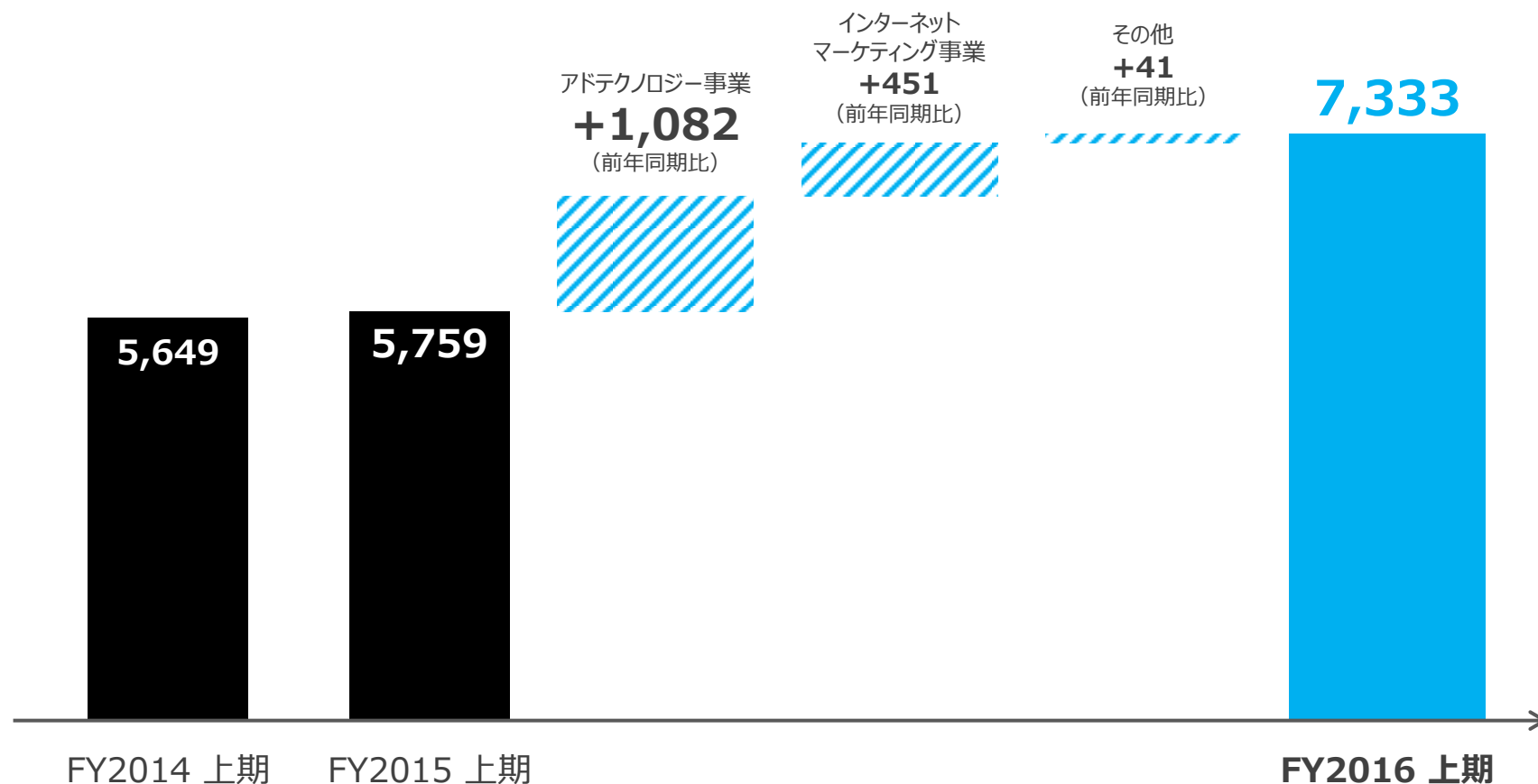




**売上高は前年同期比 +27.3%（+1,574百万円）**

～アドテクノロジー事業による大幅増収が牽引

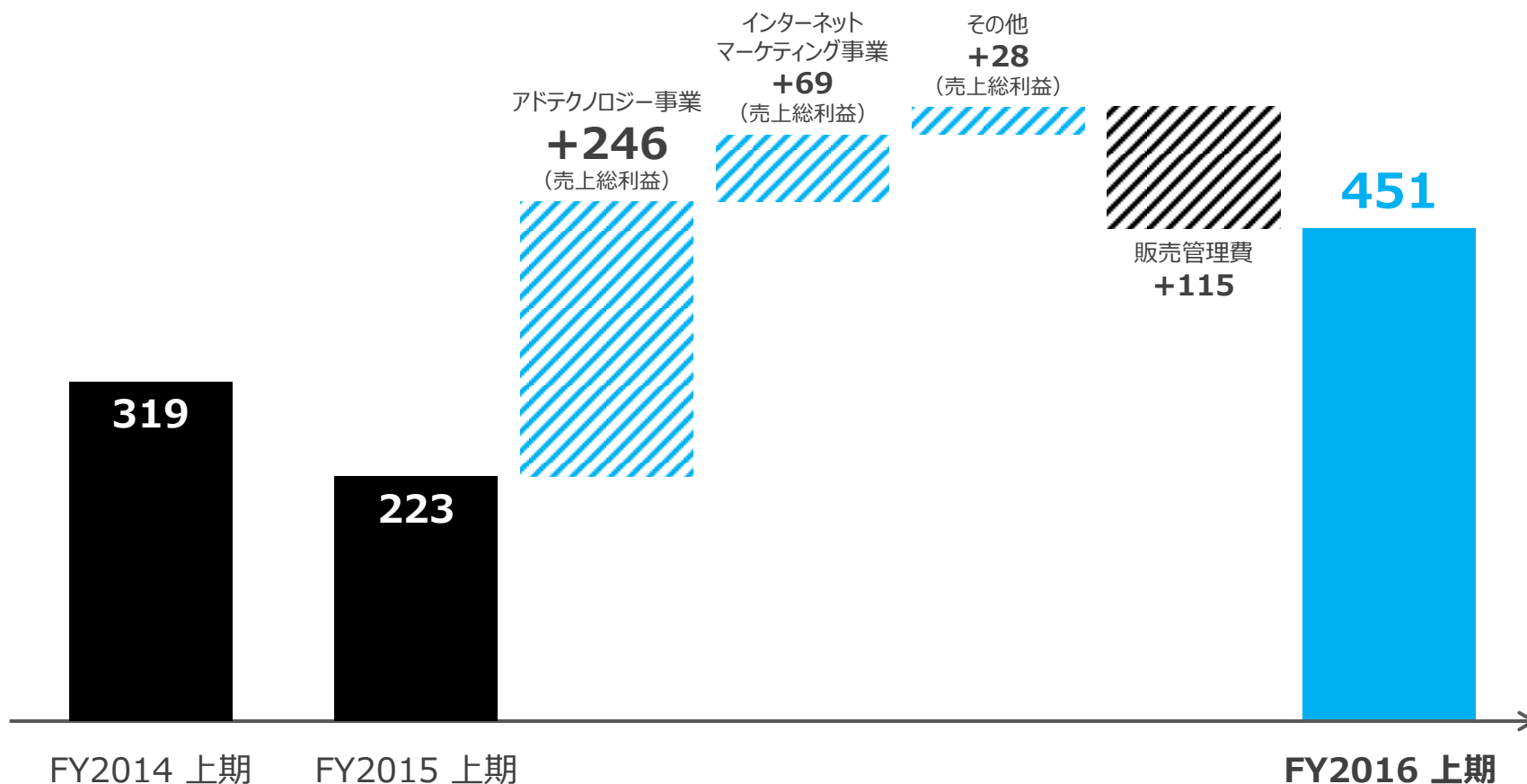
（単位：百万円）



## 営業利益は前年同期比で**倍増の+102.2%**（+228百万円）

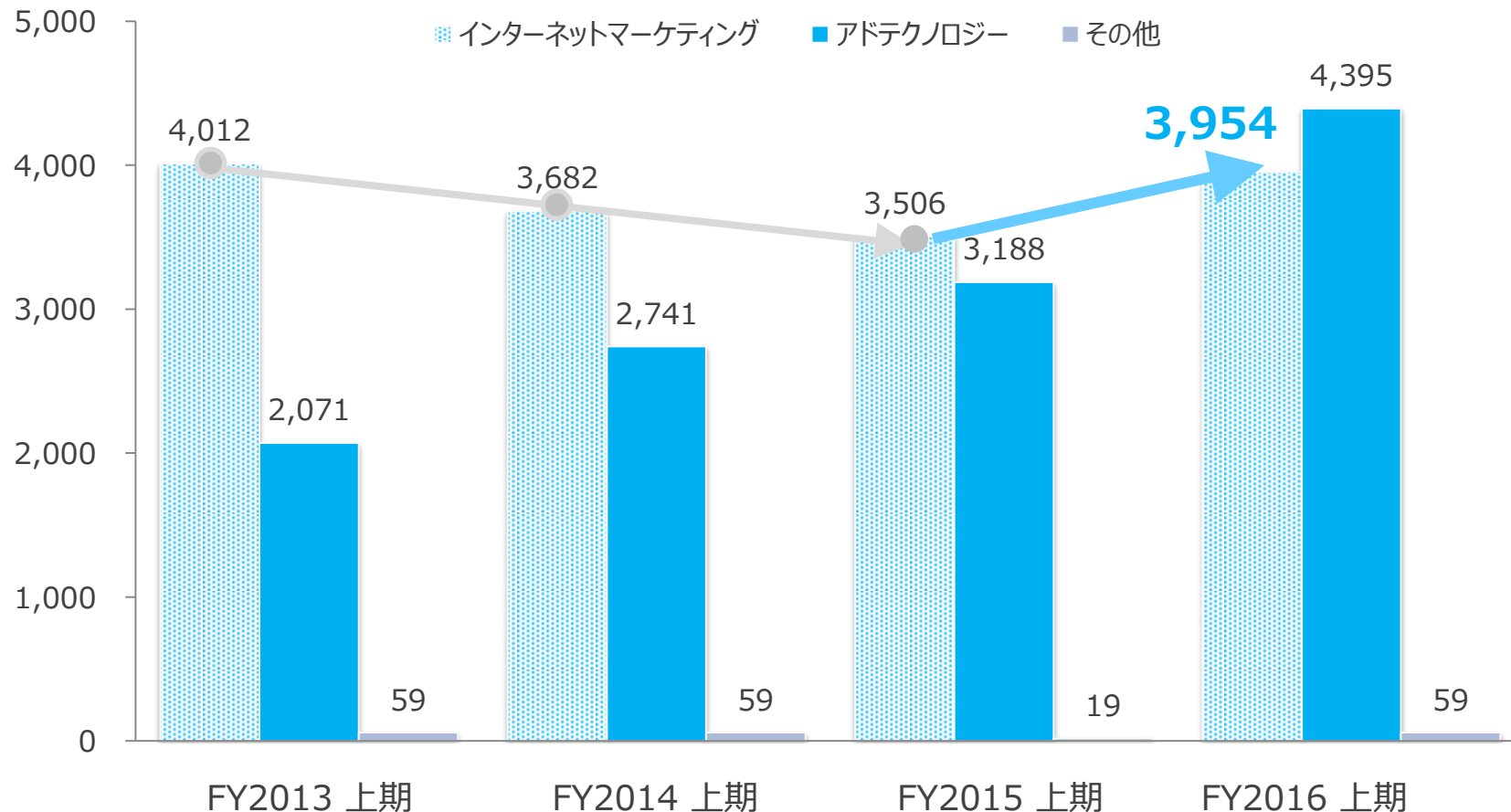
～将来投資の人的費、貸倒引当金などの販売管理費増（前年同期比+115百万）を完全に吸収

（単位：百万円）



アドテクノロジー事業は、**継続拡大を達成**  
 インターネットマーケティング事業も構造改革を経て、**成長フェーズへ進捗**

(単位：百万円)

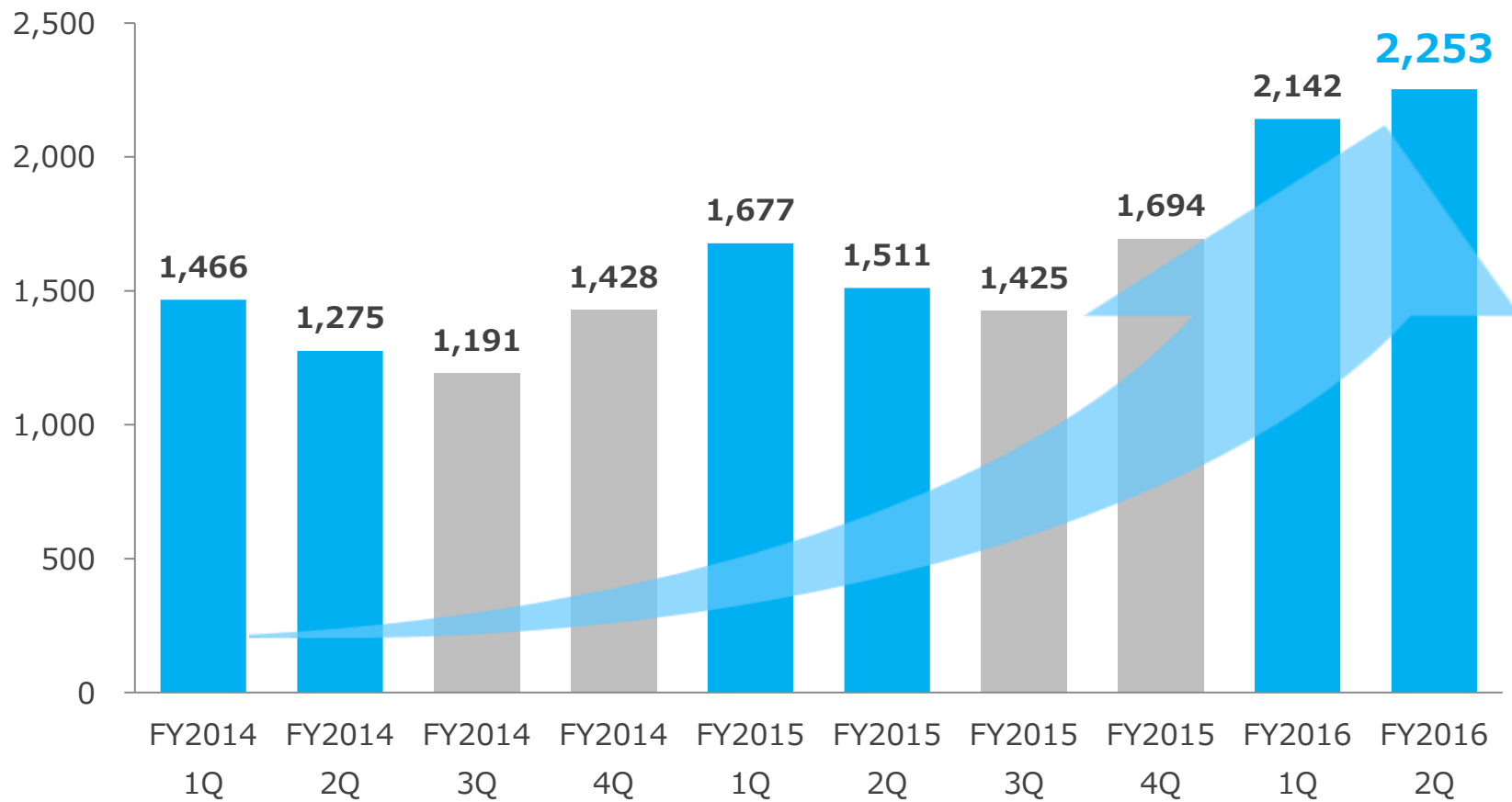


※セグメント間消去前数値

## アドテクノロジー事業の順調に拡大進捗

～AdMatrix DSPとアフィリエイトBの業績拡大が寄与

(単位：百万円)



※セグメント間消去前数値



## ビジネスの概況

Business Overview

1 アドテクノロジー事業の進捗

2 訪日インバウンド事業の進捗

3 インターネットマーケティング事業の進捗

1 アドテクノロジー事業の進捗

2 訪日インバウンド事業の進捗

3 インターネットマーケティング事業の進捗

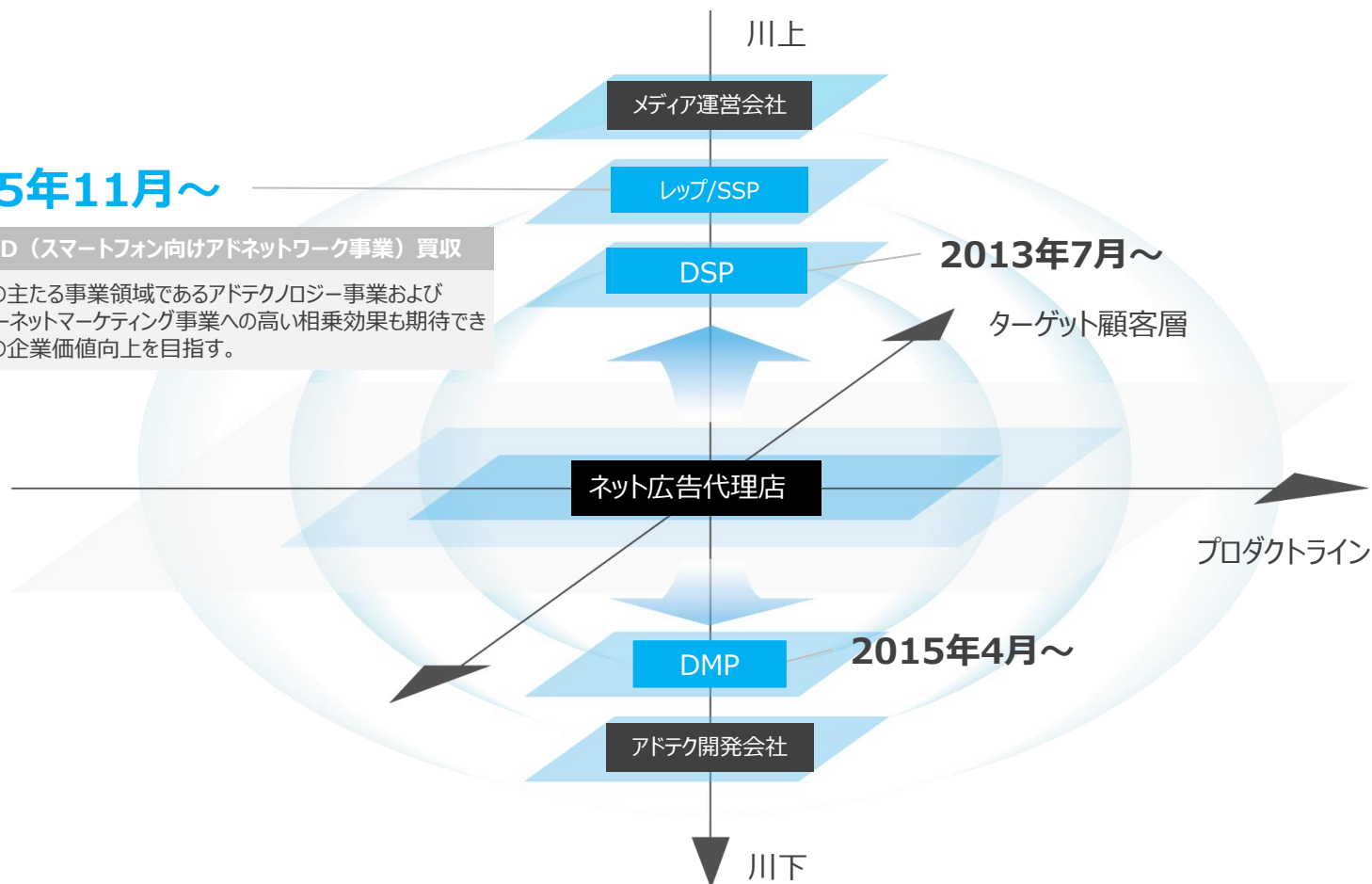
## 独自開発アドテクノロジーによる垂直レイヤー展開の実行

川上や川下(テクノロジー開発) への領域拡大を図り、  
親会社フリービットと連携し、独自開発アド・テクノロジー領域の展開を進める。

2015年11月～

■ AID (スマートフォン向けアドネットワーク事業) 買収

当社の主たる事業領域であるアドテクノロジー事業およびインターネットマーケティング事業への高い相乗効果も期待でき一層の企業価値向上を目指す。





## 「AdMatrix DSP」の展開加速

アドテクノロジー事業の主力サービス「AdMatrix DSP」の更なる拡販に向けて営業、開発両面の強化。  
また、グループ会社との連携による競争力および差別化の創造

# AdMatrix<sup>®</sup>

DSP

開発

- ・SSP接続による配信面拡大
- ・独自ターゲティング機能拡充
- ・独自データベース構築

営業

- ・自社販売強化
- ・販売代理店展開
- ・「AdMatrix」ブランド浸透

新規・連携

**CCC**  
Culture Convenience Club Co., Ltd.

**freebit**  
毎日、発明する会社



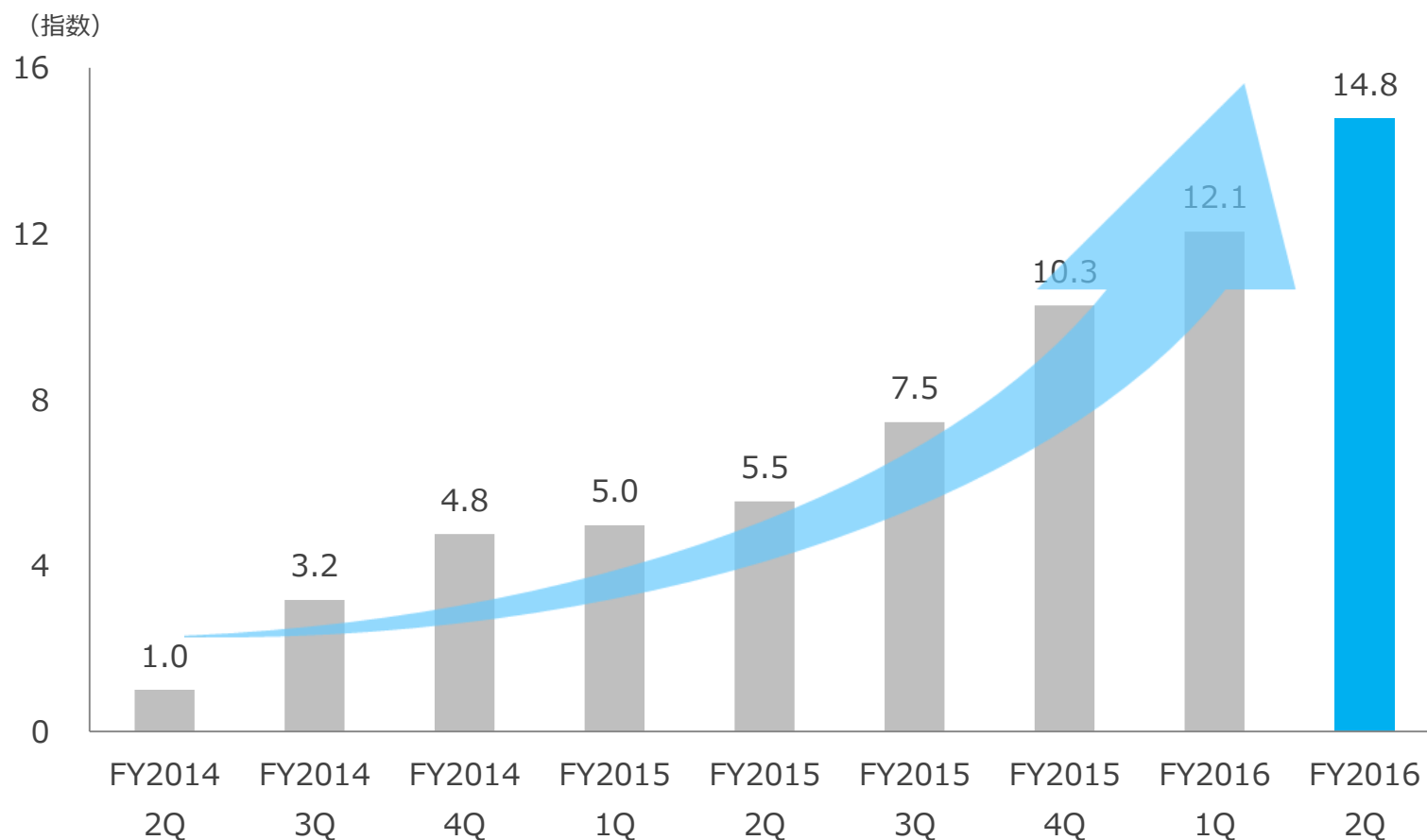
**Full Speed**  
Ad Technology & Marketing Company

アドテクノロジー領域での連携

## システム開発の1フェーズが完了し、本年度より本格的営業展開の開始

～本年度1Q・2Qともに順調に売上拡大

### AdMatrix DSP売上推移(指数)

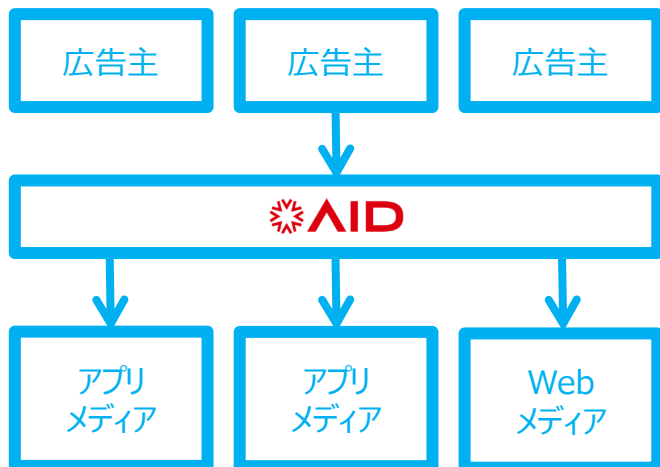


## スマートフォン向けアドネットワーク事業の買収 (2015年10月発表)

需要拡大が続くスマートフォン広告市場を鑑み、本事業の買収により、ノウハウ・広告主/媒体リレーションを獲得、当社グループ全体のスマートフォン戦略に大きなシナジー創造を期待



### ビジネスモデル



### 特徴

1

豊富なアプリメディアのネットワーク

2

独自フォーマットによる広告形式

3

黎明期からの事業運営によるノウハウ・実績

1 アドテクノロジー事業の進捗

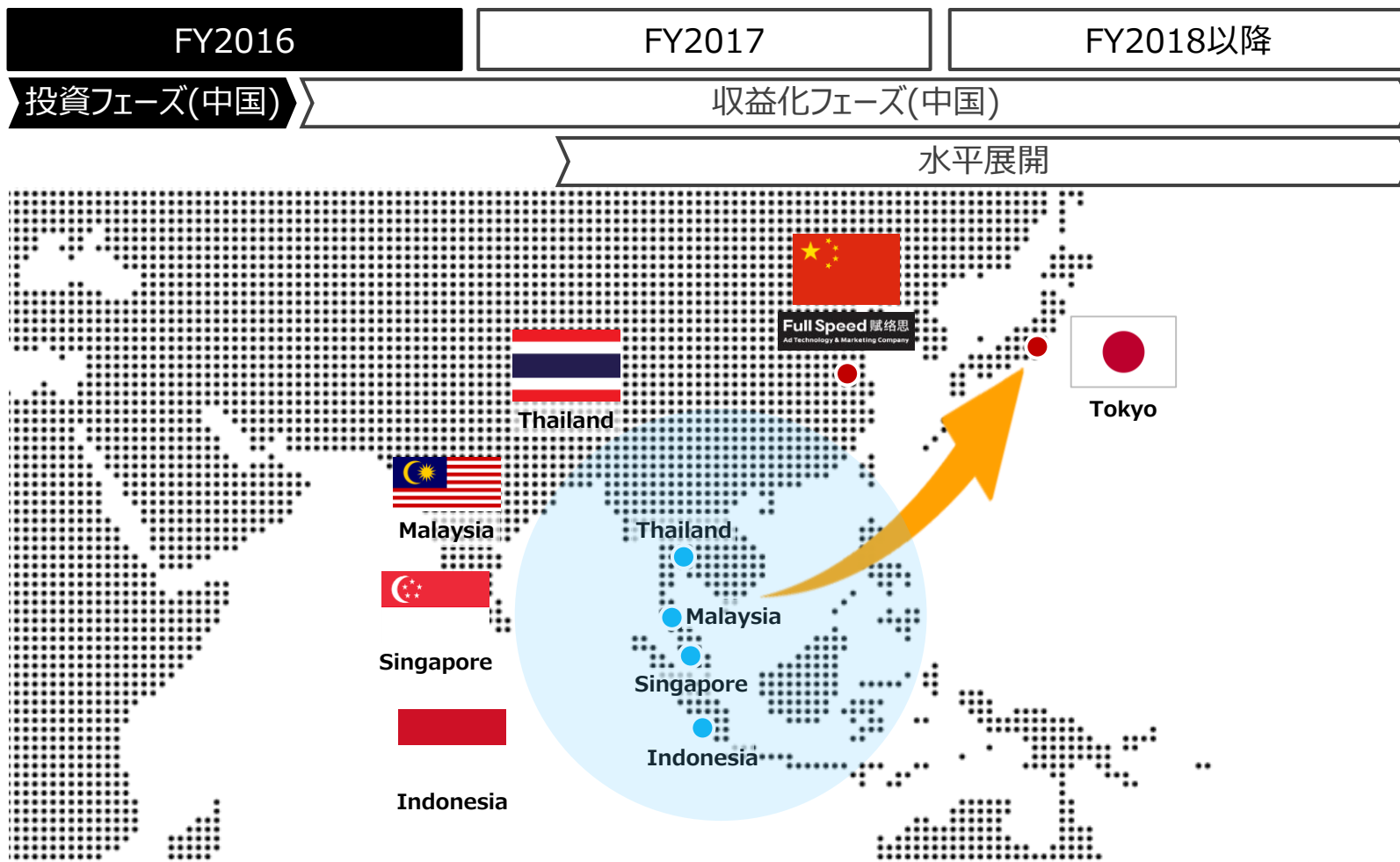
2 訪日インバウンド事業の進捗

3 インターネットマーケティング事業の進捗

## 訪日インバウンド事業へ注力

インバウンド市場にフォーカスし、訪日観光客の購買過程にあわせたソリューションを用意。

本年度中に**中国事業の収益化を実現**し、次年度以降は他アジア諸国への展開を目指す。



## 訪日観光客向けプロモーションサービス

『爆買観光客への旅マエ認知』に強みを保有するソリューションを中心に、網羅的なアプローチを実現。最適かつ効率的なプロモーションサービスの開発および提供を実施。

サービス		旅マエ認知	▶ 旅ナカ	▶ 旅アト
■フリーペーパー「Go日本」		●	●	
■旅行アプリ「Go日本」		●	●	●
■動画プロモ「アイチイー」		●	●	
■リスティング「Baiduリスティング」		●	●	
■SNS「WeChat・Weibo」		●	●	●

「Go日本」 (フリーペーパー)	「Go日本」 (旅行アプリ)	「アイチイー」 (動画プロモ)	SEMプロモ (Baiduリスティング)	SNSプロモ (WeChat・Weibo)
				 WeChat・Weiboなど

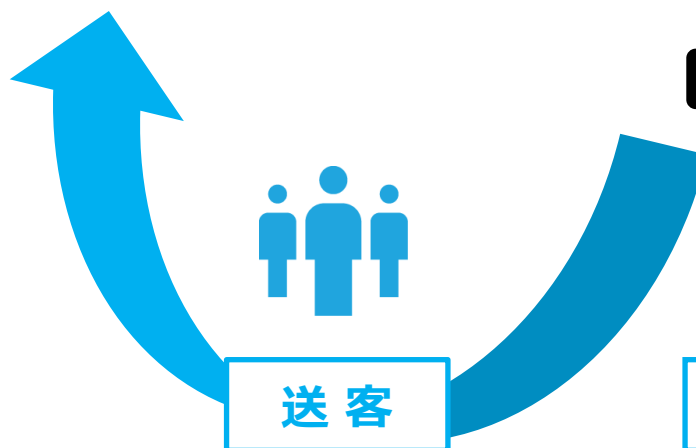
## 訪日観光客向け専用アプリ「GO日本」を展開（2015年12月発表）

徹底的にローカライズされたコンテンツ・サービスにより、徹底的にユーザー満足度を追及。

オリジナル記事・食事・乗り換え・SNSなど様々な切り口で用意、ダウンロード数も既に**20万突破**。



- **毎日更新の独自コンテンツ**  
現地スタッフによる中国人目線で企画された独自コンテンツを毎日更新
- **翻訳機能・乗換案内**  
旅行中の周辺検索や翻訳機能、乗換案内など便利な機能が満載
- **SNSメディア**  
SNSメディア（WeChat、Weibo、QQ、人人网、豆瓣）へのシェア機能搭載
- **口コミ評価によるランキング検索**  
レストラン、観光名所、ショッピング施設や娯楽施設をエリアごとにご紹介
- **オフラインでの情報閲覧が可能**  
特集や旅行記などのオフラインでの情報閲覧が可能



**独自プロモーション**

**オリジナルチャンネル 合計/950万PV~**

**10万部以上の発行**

**オリジナル動画コンテンツ プロモーション**

**圧倒的リーチ力のある F Pプロモーション**



## 2015 创业社群大会(北京·中国)

(2015 Entrepreneur' Community Conference)

当社の投資先パートナー企業である、亜智遊(北京)信息科技有限公司(董事長 劉璐)は、中国のベンチャービジネス雑誌の中で最も権威のある「創業家」を発行する「創業黒馬集団」主催の「創業社群大会」に、将来性が期待されるイノベティブな起業家として参加





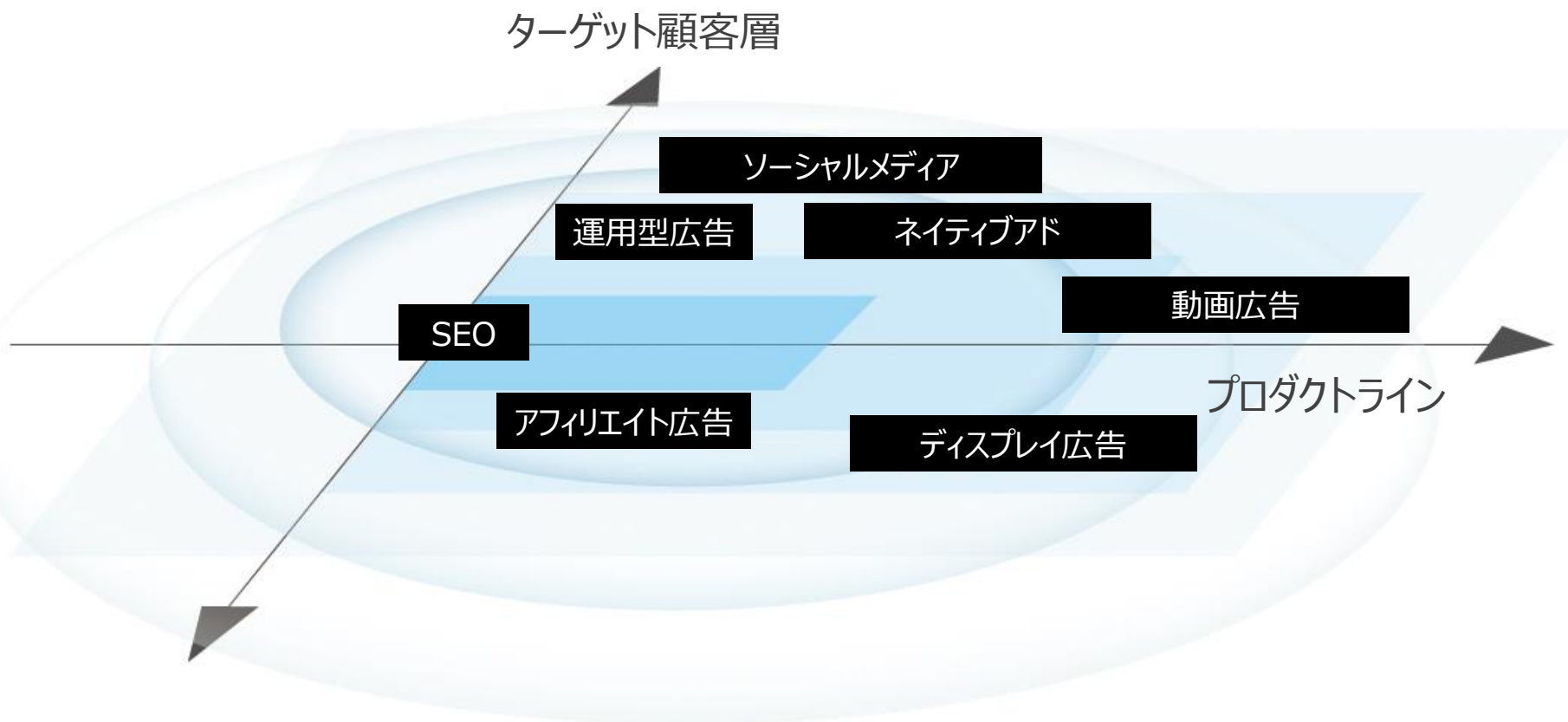
1 アドテクノロジー事業の進捗

2 訪日インバウンド事業の進捗

3 インターネットマーケティング事業の進捗

## 顧客志向を重視したコンサルティング展開

高度化が進むWebマーケティング市場において、改めて顧客目線でのコンサルティング展開を実施。  
サービス面では、ソーシャルメディア等の運用広告事業への取組みを強化・推進。



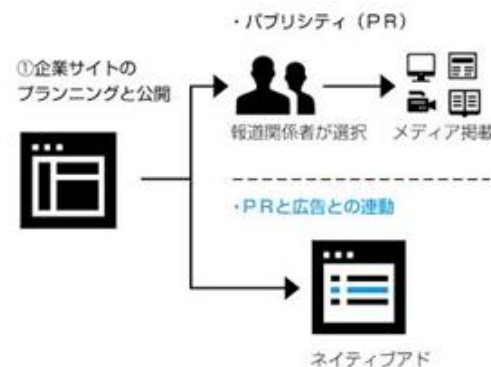
## 広告とPRを融合させた新サービスをPR企業と共同開発

企業のメッセージを“コンテンツ”に変えて“広告”の手法を活用して適切なターゲットに対してメッセージを配信

\*詳細は12月下旬発表予定

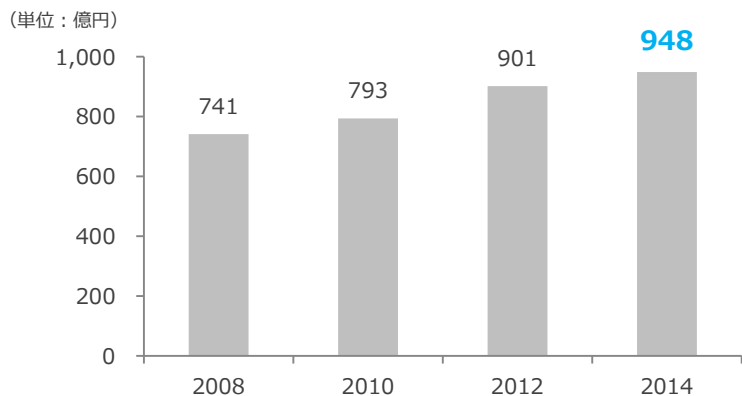
### 背景

企業では、ソーシャルメディアでの運用によるメッセージ配信と併せてソーシャルメディア広告を使って総合的にプロモーションを行う広報と、広告のメッセージの一貫性を重要視する声もあり、広報と広告の垣根が徐々になくなってきている。



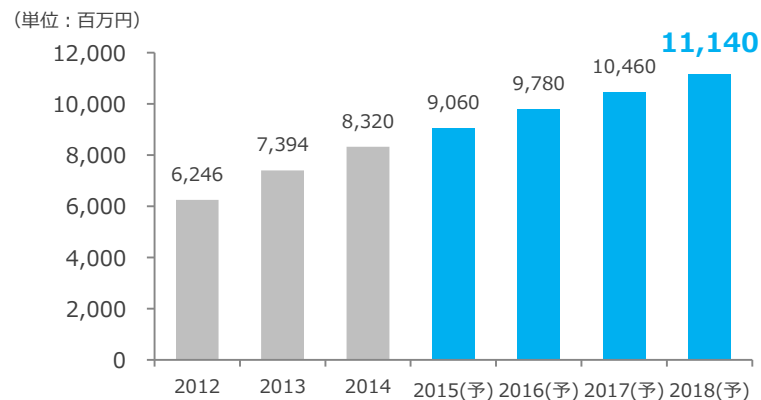
### 市場拡大

PR業市場売上規模



引用：日本PR協会

ソーシャルメディアBPOサービス市場規模



引用：矢野経済研究所

## SEM運用最大手のアイレップ社と協業し、業界最大級の運用事業の共同展開へ

サーチ系運用領域は、最高品質と言われるアイレップ社と合併会社を設立し、  
当社の強みである中小顧客への運用ノウハウ・営業力を掛け合わせた、積極的展開を実施予定

合併会社



51%



**Full Speed**  
Ad Technology & Marketing Company

49%

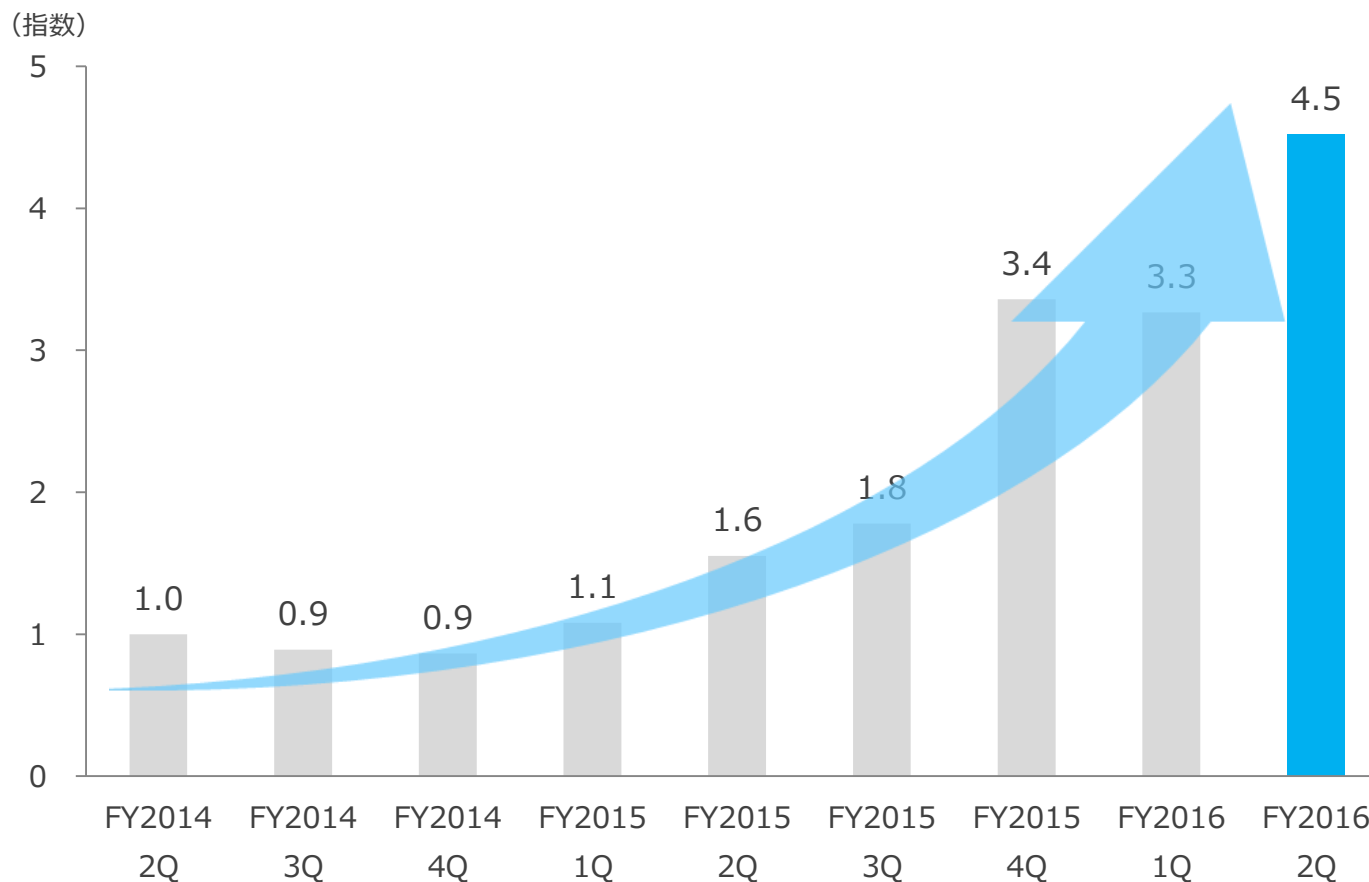


**株式会社  
シンクス**

## 成長領域であるソーシャルメディア関連の売上高は急速に拡大中

～サーチ領域における豊富な経験を活かして積極的展開

### ソーシャルメディア売上推移(指数)



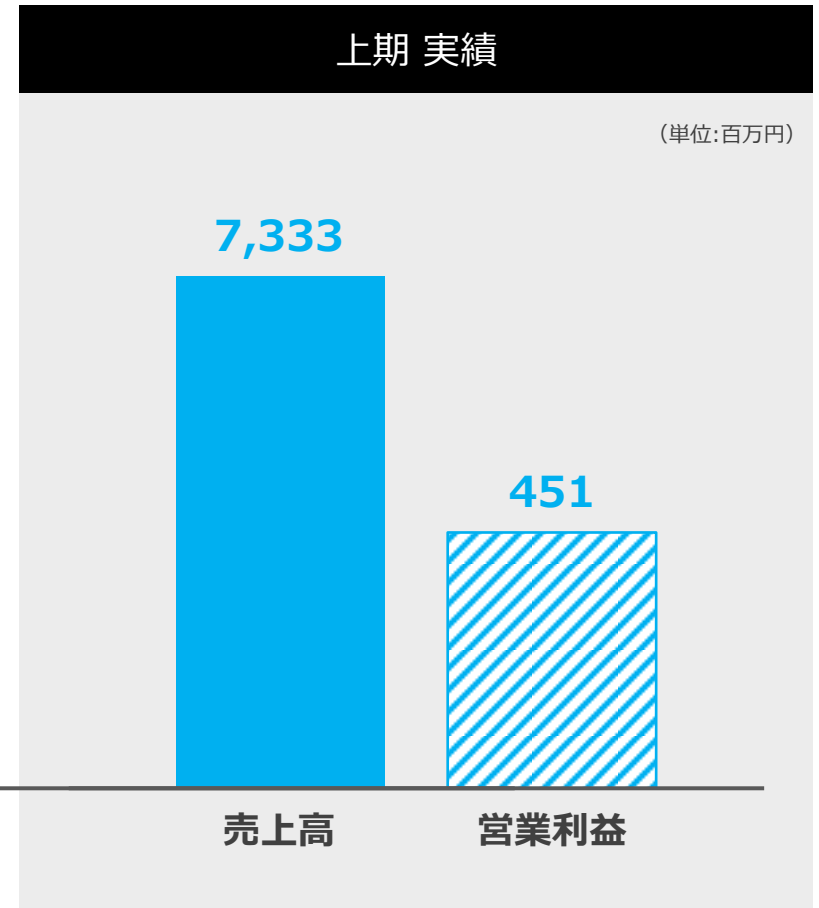
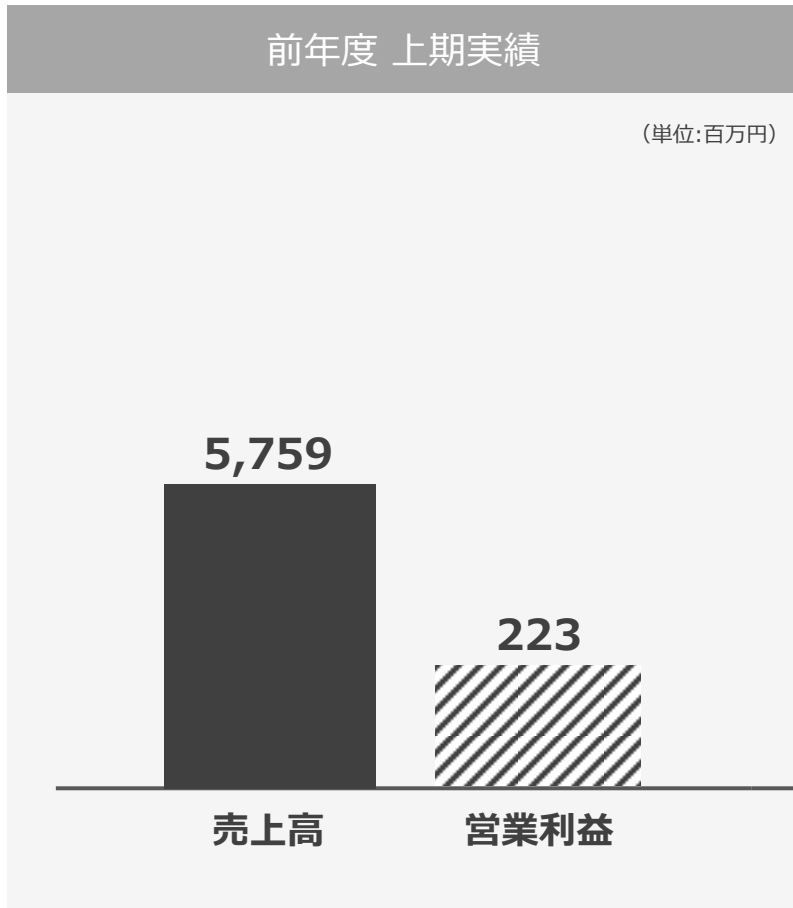


# FY2016.2Q 決算の状況

FY2016.2Q Financials

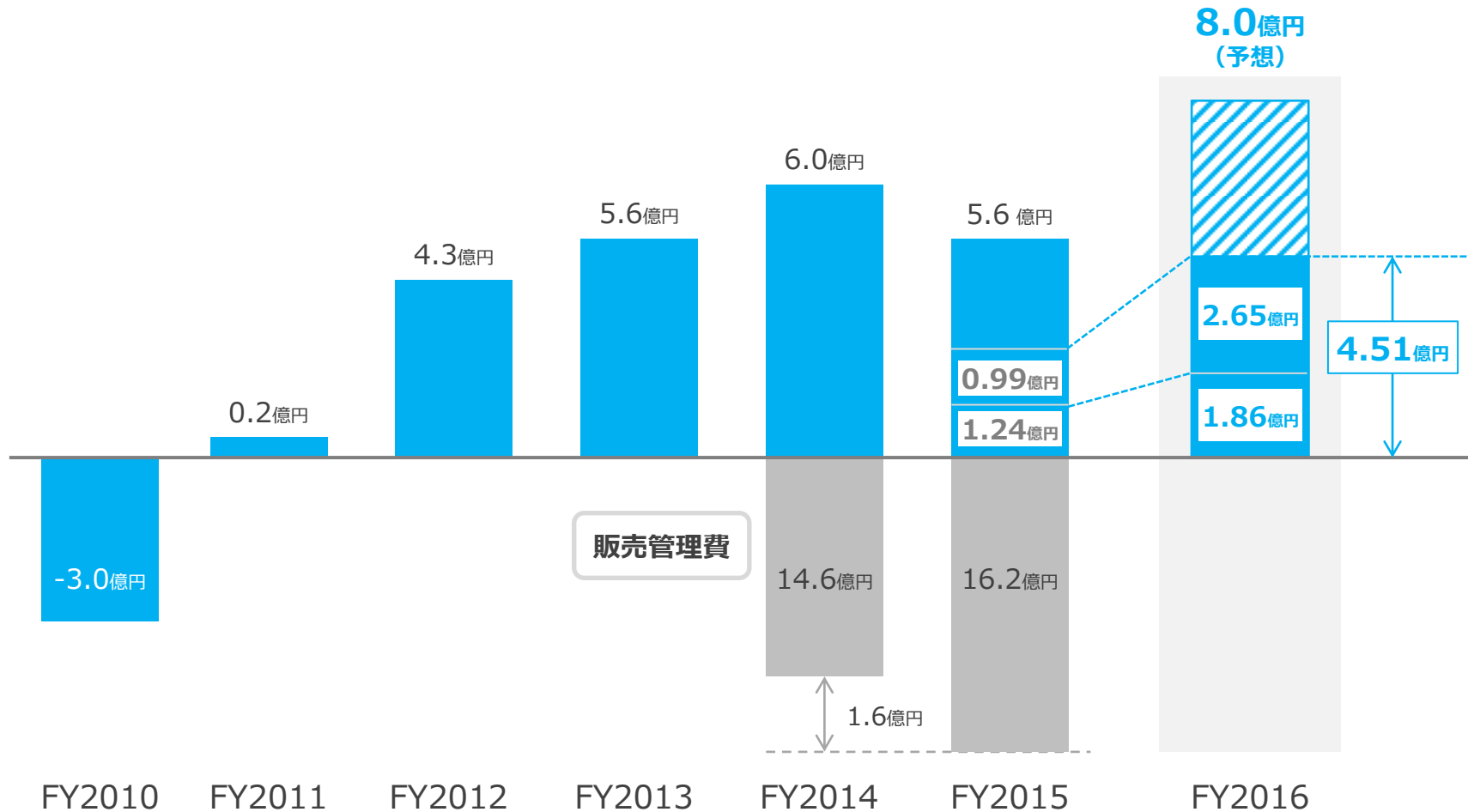
**売上高・営業利益ともに好調**

～売上高 73.3億円（前年比+27.3%）、営業利益 4.5億円（前年比+102.2%）



**営業利益の通期業績予想に対して、順調に進捗**

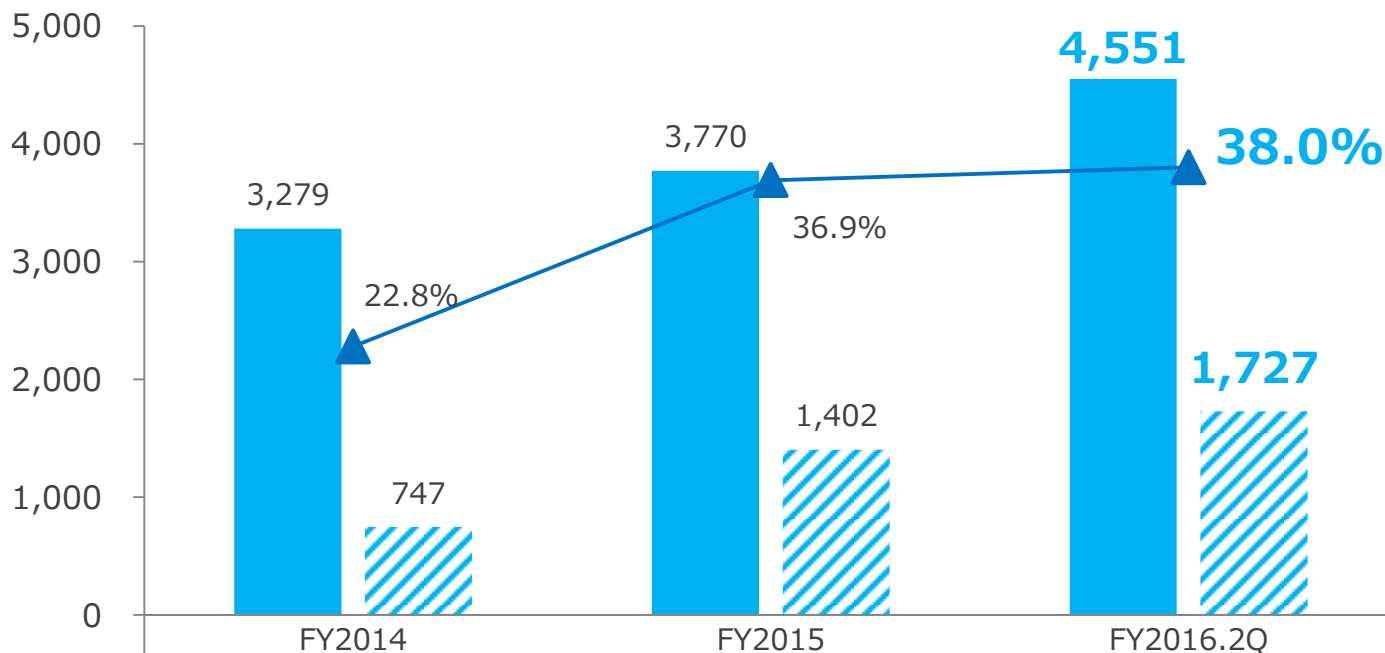
～四半期間ベースにおいても、1Q・2Qともに前年同期比で大幅増加





**安定的な純利益の積上げにより、自己資本比率が38.0%まで回復**  
 ~純資産額は17.2億円まで回復

(単位:百万円)



■ 総資産	3,279	3,770	4,551
▨ 純資産	747	1,402	1,727
▲ 自己資本比率	22.8%	36.9%	38.0%

## 前年同期比で増収・増益

好調なアドテクノロジー事業が牽引し、人材投資などによる販売管理費増を吸収

	2015年4月期	2016年4月期	対前期 増減額
	2Q	2Q	
	2014/5/1~ 2014/10/31	2015/5/1~ 2015/10/31	
(単位：百万円)			
<b>売上高</b>	<b>5,759</b>	<b>7,333</b>	<b>+1,574</b>
売上原価	4,724	5,955	+1,231
原価率	82.0%	81.2%	
<b>売上総利益</b>	<b>1,034</b>	<b>1,378</b>	<b>+344</b>
販売費及び一般管理費	811	926	+115
販管費比率	14.0%	12.6%	
<b>営業利益</b>	<b>223</b>	<b>451</b>	<b>+228</b>
営業利益率	3.8%	6.1%	
営業外収益	5	2	△3
営業外費用	29	13	△16
<b>経常利益</b>	<b>199</b>	<b>440</b>	<b>+241</b>
経常利益率	3.4%	6.0%	
特別利益	103	6	△97
特別損失	0	0	+0
<b>当期純利益</b>	<b>215</b>	<b>336</b>	<b>+121</b>
当期純利益率	3.7%	4.5%	

### ■ アドテクノロジー事業の牽引により増収

市場拡大とともにアドテクノロジー事業が引き続き拡大  
インターネットマーケティング事業も拡大

### ■ 売上増に伴い、営業利益は前年同期比ほぼ倍増を達成

人材関連への投資、貸倒引当金などにより、販売管理費は  
増加したものの、営業利益は増益

## 純資産・流動比率も向上し、財務体質が大きく改善 ～過去負債により大きく毀損していた利益剰余金も大きく回復

### 資産の部

(単位：百万円)

	2014/4	2015/4	2016/4	②-①
	(期末)	(期末) ①	(2Q末) ②	
現金及び預金	1,259	1,475	1,931	456
売掛金	1,415	1,599	1,792	193
その他	198	191	158	△33
<b>流動資産</b>	<b>2,872</b>	<b>3,265</b>	<b>3,881</b>	<b>616</b>
有形固定資産	92	96	89	△7
無形固定資産	199	282	455	173
投資その他の資産	115	126	125	△1
<b>固定資産</b>	<b>406</b>	<b>504</b>	<b>670</b>	<b>166</b>
<b>総資産</b>	<b>3,279</b>	<b>3,770</b>	<b>4,551</b>	<b>781</b>

### 負債・純資産の部

(単位：百万円)

	2014/4	2015/4	2016/4	②-①
	(期末)	(期末) ①	(2Q末) ②	
買掛金	1,046	1,054	1,188	134
短期借入金	782	582	682	100
1年内返済予定の長期借入金	347	188	158	△30
その他	284	404	562	158
<b>流動負債</b>	<b>2,459</b>	<b>2,228</b>	<b>2,590</b>	<b>362</b>
長期借入金	72	134	229	95
その他	0	4	4	0
<b>固定負債</b>	<b>72</b>	<b>138</b>	<b>233</b>	<b>95</b>
<b>負債</b>	<b>2,532</b>	<b>2,367</b>	<b>2,824</b>	<b>457</b>
資本金	799	898	898	0
資本剰余金	770	869	869	0
利益剰余金	△ 829	△ 385	△ 49	336
その他	0	0	0	0
株主資本	740	1,383	1,719	336
<b>純資産</b>	<b>747</b>	<b>1,402</b>	<b>1,727</b>	<b>325</b>
<b>負債純資産</b>	<b>3,279</b>	<b>3,770</b>	<b>4,551</b>	<b>781</b>

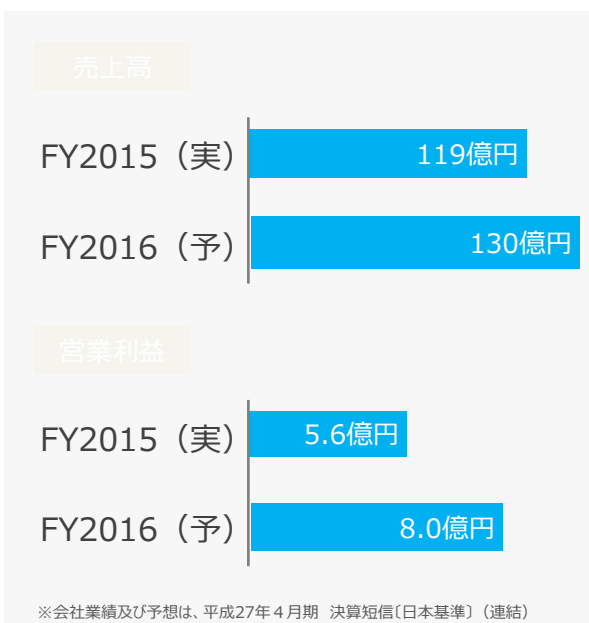


# フルスピード社 会社概要

About Full Speed Group

- 会社名 株式会社フルスピード | **Full Speed Inc.**
- 事業内容 アドテクノロジーの開発及びインターネットマーケティング事業
- 設立 2001年1月4日
- 資本金 8.9億円
- 上場月 2007年8月 (東証マザーズ上場)
- 年商 119億円 (※2015年4月期 連結売上実績ベース)

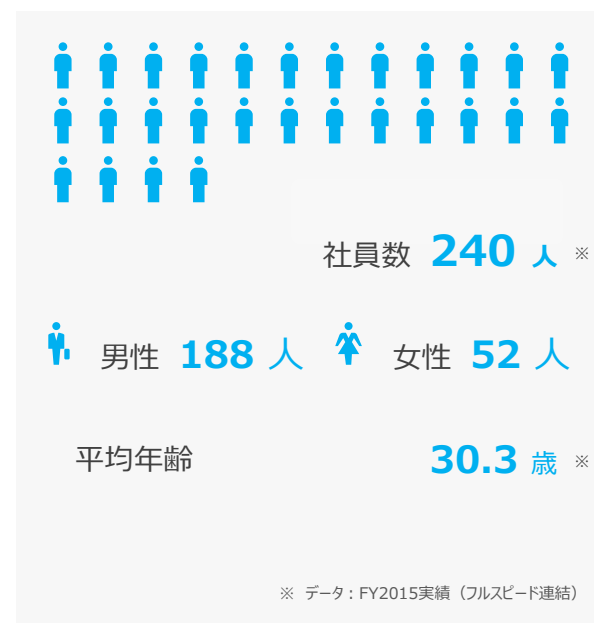
## 会社業績

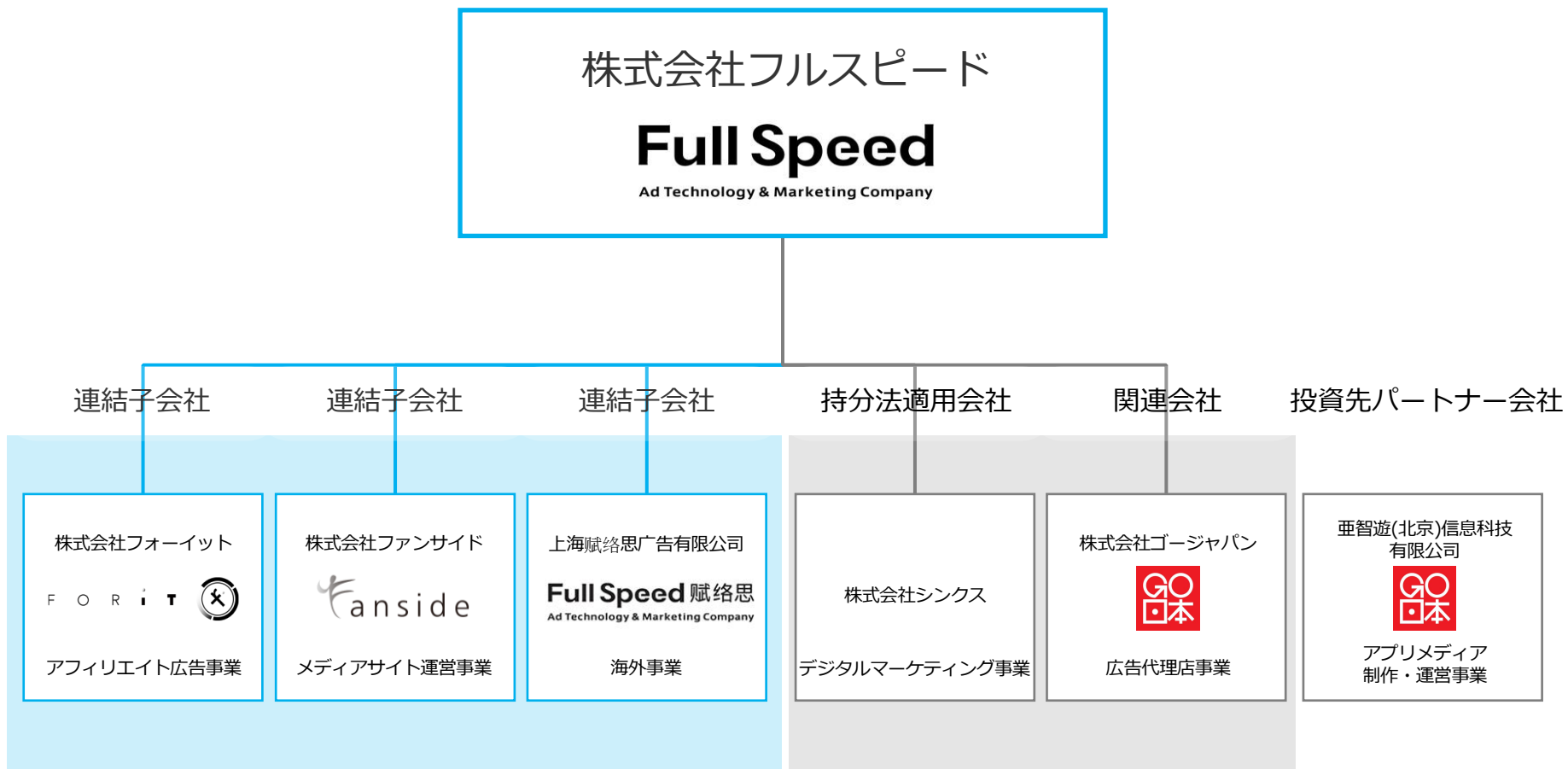


## 拠点一覧



## 従業員情報



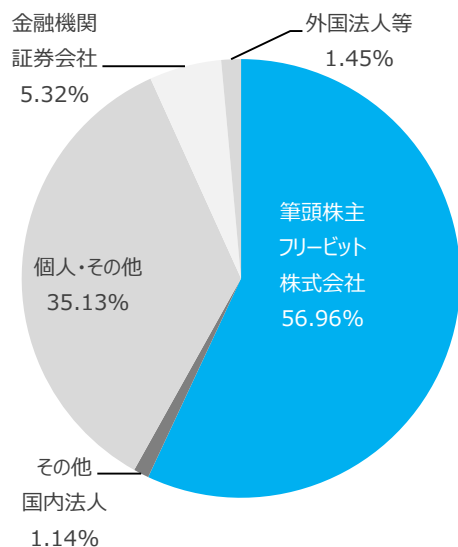


第1期	2001年1月	Webサイトの企画・制作・運営を目的として、京都府に有限会社エクシス(現:株式会社フルスピード)を設立
第2期	2002年6月	成功報酬型SEOサービスの販売を開始
第3期	2003年1月	本社を東京都へ移転
第4期	2003年12月	有限会社エクシスを株式会社エクシスへ組織変更
第5期	2004年10月 2005年7月	Google, Inc.と販売代理店契約締結。リスティング広告の販売を開始 株式会社エクシスを株式会社フルスピードへ商号変更
第6期	2006年2月 2006年7月	ヤフー株式会社(旧:オーバークチュア株式会社)と販売代理店契約締結 大阪に西日本営業所を開設
第7期	2006年11月 2007年5月	独自のアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」のサービス提供を開始 ヤフー株式会社(旧:オーバークチュア株式会社)の推奨認定代理店に昇格
第8期	2007年8月 2008年7月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場 Web戦略支援事業の強化を目的として、株式会社ファンサイドを子会社化(100%出資)
第10期	2009年9月 2010年1月 2010年4月 2010年6月	モバイルアフィリエイトサービス「アフィリエイトB モバイル」を開始 顧客企業に対する総合的な支援を目的とし、企業を対象とした有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を開始 アフィリエイト広告事業を分社化し、株式会社フォーイトを設立(100%出資) フリービット株式会社(当社の筆頭株主)との間で、資本業務提携契約を締結
第12期	2011年8月 2011年11月	福岡に九州営業所を開設 ディスプレイ広告総合マネジメントプラットフォーム「Full Speed Ad Exchange」の販売を開始
第13期	2012年6月 2012年7月 2012年8月	インターネット広告運用最適化統合プラットフォーム「AdMatrix」シリーズ サービス提供を開始 本社オフィスをE・スペースタワー(渋谷)に移転 中国(上海)に現地法人を設立
第16期	2015年12月	株式会社シンクスを設立(株式会社アイレップとの合併会社)

## 株式数・株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済み株式数	15,571,000株
株主数(議決権あり)	6,560名

## 所有者別株主構成



## 上位株主(1位~10位)の状況

2015年10月31日現在

順位	株主氏名	所有株数	比率
1	フリービット株式会社	8,870,400	56.96%
2	株式会社SBI証券	338,500	2.17%
3	一般個人株主	315,000	2.02%
4	松井証券株式会社	178,300	1.14%
5	一般個人株主	80,000	0.51%
6	マネックス証券株式会社	73,101	0.46%
7	UBS AG London Asia Equities	72,800	0.46%
8	BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCJ JAPAN	68,051	0.43%
9	一般個人株主	65,000	0.41%
10	株式会社サン・クロレラ	60,000	0.38%



“ ヒトの心理 ” と

“ 広告技術 ” を繋ぐ。

**Full Speed Inc.**

## 免責事項

本資料は株式会社フルスピードの2016年4月期 第2四半期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、また、今後、予告なく変更することがあります。